



2018年6月29日

株式会社アドバンスト・メディア

訪日外国人観光客サービス対応に向けた多言語音声翻訳アプリ 「AmiVoice® TransGuide」の実証実験を東京メトロ6駅で開始します

株式会社アドバンスト・メディア（本社：東京都豊島区、代表取締役会長兼社長：鈴木清幸 以下、アドバンスト・メディア）は、東芝テック株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：池田隆之 以下、東芝テック）と多言語音声翻訳アプリ「AmiVoice TransGuide（アミボイス トランスガイド）」の実証実験を7月上旬から3か月間、東京メトロ6駅（上野駅・浅草駅・六本木駅・恵比寿駅・神谷町駅・広尾駅）にて開始いたします。

今回の実証実験は、東京メトロを利用される訪日外国人のお客様に、より効率的でスムーズな情報伝達を行うことを目的に、「AmiVoice TransGuide」を使用し、駅構内における駅係員とお客様とによる音声翻訳による1対1のコミュニケーションを行います。

東芝テックのポータブルプリンタ「B-LP2D」と連携し、翻訳結果をプリントアウトしその場でお客様にお渡しすることで、より正確な情報伝達とご案内を行います。

「AmiVoice TransGuide」は音声認識を活用し、端末（スマートフォン・タブレット）に4か国語（日・英・中・韓）の翻訳結果を表示し音声合成により、訪日外国人のお客様へ向けて行う音声翻訳サービスです。使用頻度の高いフレーズを予め定型文として翻訳リストに登録し、音声認識により翻訳結果のリストを呼び出す機能と、クラウドによるリアルタイム機械翻訳を兼ね備えています。

予め設定された定型文の翻訳リストを検索・選択することで、誤認識のない正確な情報を伝えることができます。また、利用に合わせて自由に定型文の追加・編集ができます。あらかじめ登録しておいた翻訳文は端末内で音声認識処理を行うため、インターネット環境がない場所や、災害時などの避難誘導などでも使用が可能です。



アドバンスト・メディアでは更なるコミュニケーションバリアフリー化を目指し、本サービスの展開に向けた取組みを推進していきます。

【実証実験期間】

2018年7月上旬から9月末

【実施駅】

東京メトロ上野駅・浅草駅・六本木駅・恵比寿駅・神谷町駅・広尾駅

■アドバンスト・メディア多言語音声翻訳アプリ「AmiVoice TransGuide」製品紹介

<https://www.advanced-media.co.jp/products/service/amivoice-transguide>

■東芝テックポータブルプリンタ「B-LP2D」製品紹介

<https://www.toshibatec.co.jp/products/blp2d.html>

以上

【会社概要】

<株式会社アドバンスト・メディア>

代表者：代表取締役会長兼社長 鈴木 清幸

本社：東京都豊島区東池袋 3-1-4 サンシャインシティ文化会館 6階

URL：<http://www.advanced-media.co.jp/>

設立：1997年12月

資本金：49億7,309万円（15,929,405株）（2018年3月末現在）

事業内容：
◆AmiVoiceを組み込んだ音声認識ソリューションの企画・設計・開発を行う「ソリューション事業」
◆AmiVoiceを組み込んだアプリケーション商品をライセンス販売する「プロダクト事業」
◆企業内のユーザーや一般消費者へAmiVoiceをサービス利用の形で提供する「サービス事業」

【本件のお問い合わせ】

報道関係	お客様
経営管理本部 広報チーム	STF 事業部
TEL：03-5958-1307	TEL：03-5958-1522
FAX：03-5958-1032	FAX：03-5958-1033
E-mail：press@advanced-media.co.jp	E-mail： info@advanced-media.co.jp